

- 1 会議名 厚生・文教常任委員会協議会
- 2 日時 令和5年11月20日(月)  
午後3時2分から午後4時6分まで
- 3 場所 正・副議長応接室
- 4 出席委員 (委員長) 井上真砂美、(副委員長) 伊藤隆信  
(委員) 片岡健一郎、鬼頭博和、堀江珠恵、日比野走、榭谷規子  
欠席委員 なし

5 事務局出席 議会事務局統括主査 寺澤頭

6 委員長挨拶

7 協議事項

(1) 政策提言について

井上委員長：委員会代表質問の質問原稿について、資料に基づき説明。

榭谷委員：いきなり「変更について」という表現は違和感がある。「窓口表示を明るく分かりやすい表示に」というような表現にしてはいかがか。

片岡委員：窓口表示についてという題目でキッズスペースの話まで出てくるのはおかしい。その話もするのであれば「窓口環境の充実について」というような題目のほうがよいと思うが、一番やってほしいのは窓口表示なので、あまり多く内容を入れすぎないほうがよいと思う。

鬼頭委員：子育て支援課は保健センターに移るのでは。市役所に残るのか。保健センターに移るのであればキッズスペースを作る余裕もあるのでは。

井上委員長：部長に確認したが、それぞれ場所は変わらないという話だった。今回の代表質問では窓口表示に関してのみとする。

片岡委員：出欠管理システムについて「共有化」というのはどのような意味か。

井上委員長：放課後児童クラブの名簿をクラスとは別に作成し、そちらを放課後児童クラブの先生が確認できるようにしたいという考え。

片岡委員：流用できないかという提案でよいか。実際できるのか。

井上委員長：聞いているが回答はまだ。

片岡委員：システム関係者として、可能だと考える。流用して効率化してはどうかという内容だと理解した。

井上委員長：「流用してはいかがか」とする。

片岡委員：放課後児童クラブの預け入れ事業について、休業中は午前7時30分から預かってきているのだから、日頃からそのようにしてほしいということか。始業前というのは学校の始業前という意味か。

井上委員長：その通り。保護者から申入れがあつて検討中とのこと。

堀江委員：ファミリーサポートは午前7時から利用できる。マッチングの問題も

あるが、そういった既存のものを活用してはいかがか。

井上委員長：この質問については合意できないか。

榊谷委員：当局に公的な事業を求めるか、もっと煮詰めて市内に受入れできる団体や事業がないか探らないといけない気がする。

日比野委員：前回、視察内容を中心にして質問するという事になっていたと思うが、その中に突然この事業の話が出てきたことが疑問だがいかがか。

堀江委員：この事業が必要な理由については、児童が一人で留守番して鍵をかけて家を出ないといけないという防犯上の問題を保護者が一番危惧しているのではないかと思う。

榊谷委員：日比野委員の言う通り、今回の委員会の合意事項ではないので、委員長が次の一般質問で行ってはいかがか。

井上委員長：そのようにする。もしくは放課後児童クラブについて一般質問する委員に質問してもらっても良い。

片岡委員：聞くだけでも意味はあると思う。放課後児童クラブの民営化については自分が一般質問する予定。この質問もするかどうか委員長と相談する。

井上委員長：保護者から言われて入れたが、今回の代表質問には入れないこととする。

鬼頭委員：こういった要望は多いのか。

井上委員長：午前7時台に出勤する保護者は多い。

片岡委員：問題意識はある。研究して次に引き継ぐのもよい。現状把握はできるのか。

堀江委員：保育園に7時30分から預けている保護者がいるので、現状はそこから把握することができるかもしれない。

榊谷委員：ファミリーサポートもあるが、援助会員が減っている問題もある。委員全員が調査し、内容を煮詰めたほうがよい。

鬼頭委員：放課後児童クラブも人材不足。朝早くやるとなると、さらに人材が不足するという問題も当局側にはあると思う。

井上委員長：学校給食費第3子以降の段階的完全無償化についてはいかがか。

片岡委員：当局側はこの質問の数字を出せるのか。

井上委員長：出せる。

片岡委員：おおよその予算も出せるのか。

井上委員長：出せるが数値までは聞いていない。

片岡委員：そこまで多くならないと思うが、金額によっては考えないといけない。

井上委員長：できれば高校3年生までぐらいにしてほしいか。

片岡委員：当局側ができるということであれば完全無償化が理想。難しいだろうということでこのようにしたと思うが、当局側はどういった雰囲気か。

井上委員長：部長との話では小牧市は申請方式でやっているという話も出た。当局に確認し、段階的とするかどうか考える。

梶谷委員：女性が働く理由としては、お金だけでなく女性の働き甲斐としてという側面もあるので、資料にお金が多く書いてあるところが気になった。

井上委員長：お金の問題で子どもを諦める人が多いというアンケート結果があるのでこのようにしたが、資料についてももう一度考える。

片岡委員：委員会の総意として質問することになるので、原稿は一言一句まで委員全員で見たいと考えるが、いかがか。

井上委員長：指摘を基に通告書を修正し今週中に配布する。詳細原稿は12月8日に提示したいが、それでいかがか。

片岡委員：同意できない文言の調整はそこですか。先に配布してから8日に協議したほうがよいのでは。

井上委員長：通告書提出後に当局へヒアリングも行ってから質問原稿を作成し、委員全員に配布することとする。それを見て協議会前に修正意見があれば先にいただきたい。

片岡委員：行政視察の内容を一般質問に入れるという話は必須か。自分は放課後児童クラブ民営化についてだが、当局の反応が悪かったのでやれないかもしれない。ご承知いただきたい。代表質問の質問事項について「求むこと」となっているところは「求む」がよいのでは。

井上委員長：「求む」とする。

## (2) その他

なし

## 8 その他

なし